

三菱設備用口スナイ

外気処理ユニット〈床置ビルトイン形加熱加湿付直膨タイプ〉

R410A 対応

取扱説明書

お客様用

形 名

もくじ

ページ

R410A 対応

- LB-150DF7-50 (3相 200V 50Hz)
- LB-150DF7-60 (3相 200V 60Hz)
- LB-200DF7-50 (3相 200V 50Hz)
- LB-200DF7-60 (3相 200V 60Hz)

お使いになる前に

- | | |
|--------------|-----|
| 安全のために必ず守ること | 2~4 |
| 特 長 | 5~6 |
| 各部のなまえとはたらき | 7 |

使いかた

- | | |
|------|------|
| 使いかた | 8~21 |
|------|------|

お手入れ・困ったとき

- | | |
|--------------|-------|
| お手入れ | 22~25 |
| 保守点検 | 26~29 |
| 「故障かな?」と思ったら | 30~31 |
| アフターサービス | 32 |
| 移設・工事・点検について | 33 |
| 仕 様 | 34 |

★ ご使用の前に「安全のために必ず守ること」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

★ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内（冷熱品）」とともに大切に保管してください。

★ お使いになる方が代わる場合には、本書と「据付工事説明書」をお渡しください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

No servicing is available outside of Japan.

お客様自身では、据付け、移設をしないでください。（安全や機能の確保ができません）

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
 注意	誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

■ “図記号”の意味は次のとおりです。

	禁止		ぬれ手禁止
	分解禁止		指示に従い必ず行う
	水ぬれ禁止		アース線接続

●ご使用時

!**警告**

長時間直接お肌に風をあてない
健康を損なう原因になります。



禁止

吸入口・吹出口に指や棒などを入れない
特に子様にご注意を！
内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない
火災・変形の原因になります。



使用禁止

お客様自身で分解・据付け・修理・移設・廃棄はしない
不備があると、火災・感電によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。お買い上げの販売店にご相談ください。



分解禁止

お手入れの際は、必ず分電盤のブレーカーを切る
お手入れ中に保護運転がはたらくのを防ぐため。通電状態では感電やけがをすることがあります。



電源を切る

清掃およびメンテナンス作業時には運転を止め、電源スイッチを切る
ファンおよびファンモーターへの接触によるケガや感電の原因になります。



電源を切る

異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る
異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因となります。
また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買い上げの販売店にご連絡ください。



電源を切る

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しない

法令違反の可能性や、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災などの発生のおそれがあります。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書あるいは銘板に記載されています。それ以外の冷媒を封入した場合の故障・誤動作などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。



禁止

パネルやガードを取りはずさない

機器の回転物・高温部・高圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
点検時以外は絶対にはずさないでください。



分解禁止

外気処理ユニットおよびリモコンを水洗いしない

ユニットおよびリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

濡れた手で電源スイッチを操作しない

感電の原因になります。



ぬれ手禁止

定格電圧、制御容量範囲で使用する

間違った電圧で使用すると火災や感電の原因になります。



制御容量

凍結のおそれのある地域では、給水配管に必ず凍結防止工事を行う

給水電磁弁・配管などが破損し、水漏れの原因になります。



凍結防止

万一冷媒が漏れても限界濃度を超えないよう換気対策を行う

冷媒が漏れると、酸欠事故の原因になります。
お買い上げの販売店にご相談ください。



換気

⚠ 注意

外気処理ユニット付近に漏れて困るものを置かない
冷房時、多湿（湿度 80%以上）時の長時間運転およびホコリなどによるドレン詰まりにより水が漏れ、家財などを濡らし汚損の原因になります。



設置禁止

直接風のあたる場所に燃焼機器を置かない
不完全燃焼の原因になります。外気処理ユニットが燃焼器具の熱で変形することがあります。



設置禁止

冬期、室内を暖房しているとき、「普通換気」で運転しない
本体から結露水が漏れ、床面を汚すおそれがあります。



使用禁止

直接風のあたる場所に動植物を置かない
動植物に悪影響を及ぼす原因になります。



設置禁止

お手入れの際は洗浄剤等を絶対に使用しない
変形、割れ等の原因になります。



禁止

フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない
落下・転倒によるケガの原因になります。



禁止

給気口の下方に食品や食器を置かない
ホコリ・鏽や白粉等の異物が食品に落ちますと汚損などの原因になります。



禁止

温度を上げすぎて使用しない
過加湿になると結露し、建物自体を傷める原因になります。



設定注意

室内を薬品消毒したあとには必ず換気をする。
薬品および薬品から発生したガスを十分排気してから、外気処理ユニットを運転する

薬品や薬品から発生するガスが付着したり、吸込んだりすると外気処理ユニットの腐食、変形の原因になります。



換気

室内を薬品消毒するときは外気処理ユニットを停止する。

また、薬品が付着しないようにシートなどで覆う

薬品や薬品から発生するガスが付着すると腐食、変形の原因になります。また、薬品が飛散し危険です。



電源を切る

直接風のあたる場所に燃焼機器を置かない
不完全燃焼の原因になります。外気処理ユニットが燃焼器具の熱で変形することがあります。



設置禁止

特殊用途に使用しない
精密機器・食品加工、保有・動植物・美術品の保存などに使用しないでください。品質低下の原因になります。



使用禁止

室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない
落下・転倒によるケガの原因になります。



禁止

据付台などがいたんだ状態で放置しない
ユニットが転倒し、ケガなどの原因になります。



放置禁止

運転中に冷媒配管に触れない
素手で触ると凍傷や、やけどになるおそれがあります。



禁止

リモコンを先がとがった物で押さない
故障の原因になります。



禁止

燃焼機器と一緒に使うときは、こまめに換気する
酸素不足の原因になります。



換気

フィルターの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する
目にゴミ・ホコリが入ることがあります。



保護具着用

お手入れ後の部品の取付けは確実に行う
落下によりケガをすることがあります。



取付け

お手入れの際は手袋を着用する
着用しないとケガの原因になります。



手袋着用

安全のために必ず守ること つづき

●据付け時

! 警告

元電源の取付位置を確認する



元電源

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平にしっかりと固定されていること
ユニットの転倒などによりケガの原因になります。



設置場所

据付けは、お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください



据付け

使用される別売部品は当社指定品であること
別売部品は、必ず当社指定のものであること。
お客様ご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



別売部品

漏電遮断器を取付ける

取付けていないと、感電・火災の原因になります。



漏電遮断器

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する



専用回路

リモコン付近の温度が40°C以上、0°C以下になる場所、または直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散しリモコンにかかる所には取付けない



禁止

異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。

! 注意

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれのある場所へは据付けない

ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。



据付禁止

●冷媒（フロンガス）についてのご注意

この外気処理ユニットには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用しています。そのため、漏れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いため、部屋の中では床面に溜りやすく酸欠事故の原因になります。

（冷媒が漏れたときの処置）

万一冷媒が漏れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして十分換気を行ってください。その後、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ドレン配管は確実に行う

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。



排水

アース工事（D種接地工事）を行う

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アース工事

●次の場所への据付けは避けてください

本体が腐食しガス漏れしたり、性能が著しく低下したり、部品（温湿度センサー、ロスナイエレメント、加湿エレメント等）が早期に破損や故障することがあります。

- 可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- 車両・船舶など移動するもののへの設置
- 高周波を発生する機械を使用するところ
- 化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- 粉や蒸気が多量に発生するところ
- 油煙がたちこめるところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 積雪により室外ユニットが塞がれるところ
- 火の近くや溶接時のスパッターなど火の粉が飛び散るところ

（据付け時の警告、注意については、外気処理ユニット）
の据付工事説明書をご覧ください。

特 長

最近のオフィス等は気密性が良く、冷暖房効果・しゃ音効果が高いという特長があります。その反面、換気不足による室内空気の汚染・結露の発生など健康を害したり、壁・天井の汚れのもとになるカビ・ダニの発生につながります。

そこで外気処理ユニットによる換気が必要になります。

外気処理ユニットは……

室外の空気を室内の温・湿度に近づけながら室内に給気するとともに、汚れた空気を室外に排気します。

主な特長

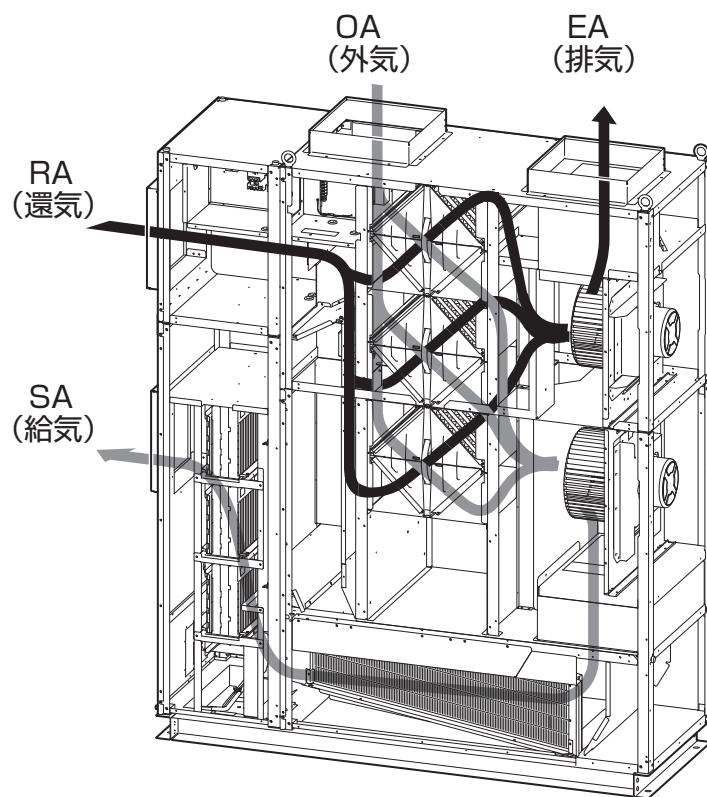
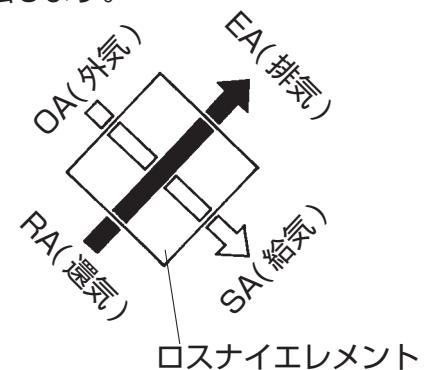
1	強制同時給排なので 新鮮空気	強制同時給排機能によってきれいな外気を取り入れながら汚れた空気を排気します。だから室内の空気は新鮮です。
2	ロスナイエレメントの働きで 快適温度	ロスナイエレメントの働きにより外気を室温に近づけて給気しますので、暖かさ・涼しさを保ちながら換気します。
3	熱ロスが少ないので 省エネ	室内の暖かさ・涼しさを保ちながら換気ができるので、冷暖房時の熱ロスが少なく冷暖房費も節約できます。
4	特殊構造により 防音効果	室外騒音の侵入を防ぎ、室内音の音もれを抑えます。
5	滴下気化式加湿エレメントによる 快適な加湿	滴下気化式加湿エレメントを採用。 常に新鮮な水を供給し、快適な加湿空気を室内に供給します。
6	制御モード選択可能による 快適性向上	除加湿優先制御：リモコンの設定温度によらず加湿・除湿を優先して直膨コイルの温調制御を行います。 外気温度制御：リモコンの設定温度と外気温度を比較して直膨コイルの温調制御を行います。 除加湿優先制御では、本体内の OA, RA 温度センサーにより、 スマート加湿：室内湿度が低い場合には加湿を優先して直膨コイルの温調制御を行い、室内が設定湿度に近づくと自動で吹出温度上昇を抑えながら加湿を行います。 スマート除湿：室内湿度が高い場合には除湿を優先して直膨コイルの温調制御を行い、室内が設定湿度に近づくと自動で吹出温度低下を抑えながら除湿を行います。
7	柱と柱の間に納まる 省スペース	柱と柱の空間に納まる省スペース床置形ですので、機械室の設置や天井裏の施工が不要です。
8	前面一方向から 簡単メンテナンス	前面のメンテナンスパネルより清掃ができるため一方向からのメンテナンスができます。

特長 つづき

「ロスナイ換気」と「普通換気」とは

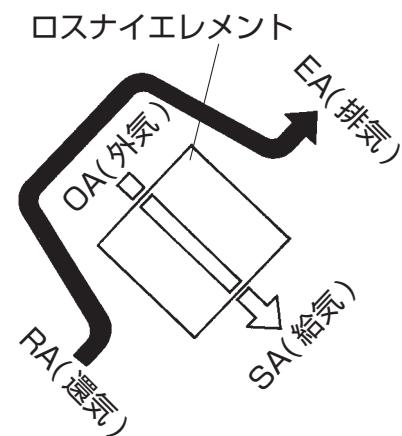
● 「ロスナイ換気」とは……

室内空気をロスナイエレメントを通して室外に排気します。熱交換された外気が室内に供給されます。
冷暖房をしている夏・冬には「ロスナイ換気」で運転します。



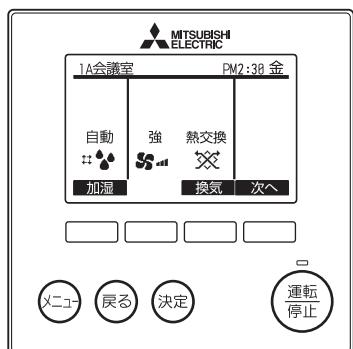
● 「普通換気」とは……

室内の汚れた空気をロスナイエレメントを通さずそのまま排気します。熱交換を必要としない春・秋には「普通換気」で運転します。

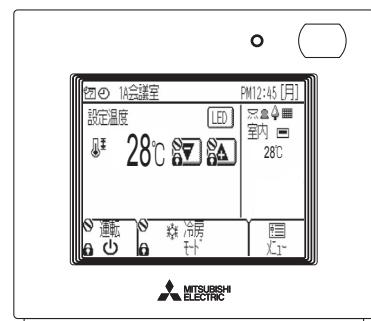


使用するリモコン

MAスマートリモコン：PAR-38MA

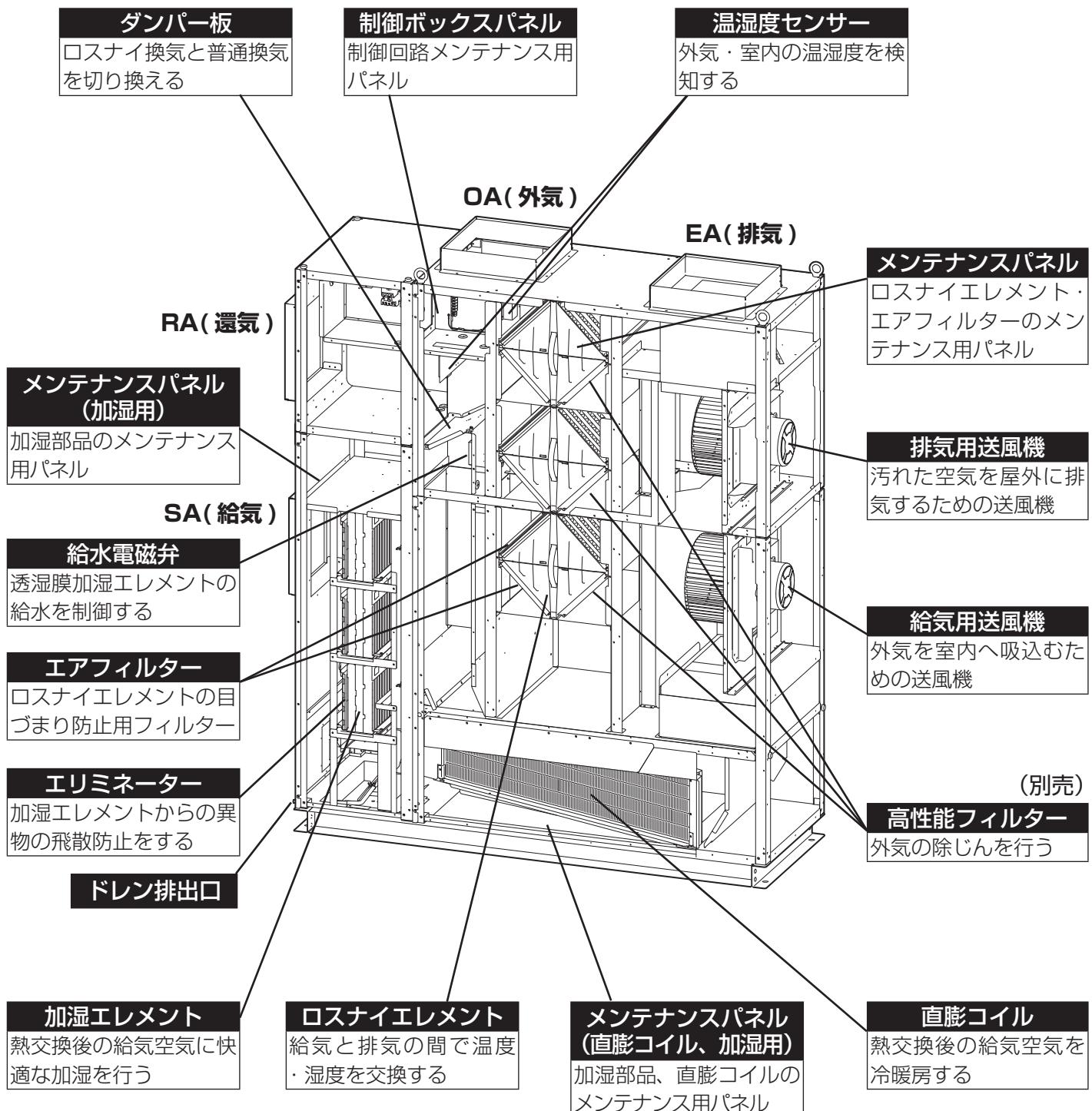


MEリモコン：PAR-F30ME1



各部のなまえとはたらき

※図はLB-150DF7-50を示す。



使いかた

この製品は三菱電機マルチエアコンシステムに組込まれて使用するものです。

マルチエアコンと連動運転をする場合と連動しない場合で使いかたが異なりますので、下表に従って該当する操作を行ってください。

メモ

- MA スマートリモコン (PAR-38MA)、ME リモコン (PAR-F30ME1) をご使用の場合は、リモコンの取扱説明書も併せてご覧ください。
- 暖房モード時または加湿モード時、製品本体の結露防止のため「ロスナイ換気」で運転してください。
- 手動で普通換気（バイパス換気）に設定した場合でも結露防止のため外気相対湿度が 80%以上、「冷房（除湿）」「送風」運転時は外気が 8°C 以下、「暖房（加湿）」運転時は外気が 15°C 以下では自動的に「ロスナイ換気」となります。（この場合リモコンの表示は「普通換気」のままです）

〈単独運転の場合〉

システム例	操作	機能説明
<p>外気処理ユニット 電源 MA スマートリモコン (PAR-38MA) ME リモコン (PAR-F30ME1)</p>	リモコンで運転します。	<ul style="list-style-type: none">● リモコンが 2 台ある場合は後押優先となります。 ※ MA スマートリモコンと ME リモコンの併用接続はできません。

〈マルチエアコンと連動する場合〉

システム例	操作	機能説明
<p>外気処理ユニット 電源 マルチエアコン 電源 マルチエアコン用 リモコン</p>	マルチエアコン用リモコンで「運転」または「停止」すると自動的に外気処理ユニットも「運転」または「停止」します。	<ul style="list-style-type: none">● マルチエアコン用リモコンで外気処理ユニット単独の運転／停止ができます。（MA スマートリモコン・ME リモコン使用時）● 換気モードは「自動切換」固定になります。● 加湿運転はマルチエアコン暖房運転時に行います。● 外気処理ユニットの運転モードは運転しているマルチエアコンと同じモード（暖房、冷房、送風）で運転します。また連動しているマルチエアコンが複数で、それぞれ運転モードが違う場合は、暖房>冷房>送風の優先度で運転モードが決まります。

【お知らせ】

この製品は、三菱電機マルチエアコン用室外ユニットに接続して使用します。

接続の室外ユニットのモデル名が『マルチ S シリーズ (PUSY)』のものは、除加湿優先制御モードは使用できません。

お願い

- 加湿シーズン終了後、および加湿シーズン以外で、試運転や立会検査実施後は、給水バルブまたはサービス弁を閉止し、加湿器の乾燥運転を行ってください。また加湿シーズン中においても長期間（2～3週間以上）運転しない場合には、加湿器の乾燥運転を行ってください。加湿器の乾燥運転は、加湿「切」、「ロスナイ換気」運転で累計 3.5 時間以上運転してください。乾燥運転を行わないと残留水が腐敗し、異臭を生じることがあります。
- 异臭の発生した加湿エレメントは交換が必要になります。

- 加湿シーズン中（夜間）に、室内の他の空調機を全て停止し、外気処理ユニットのみ運転する場合は、加湿を OFF して運転するようにしてください。室温が下がり、加湿により結露が発生するおそれがあります。

加湿 OFF のために以下のようにしてください。

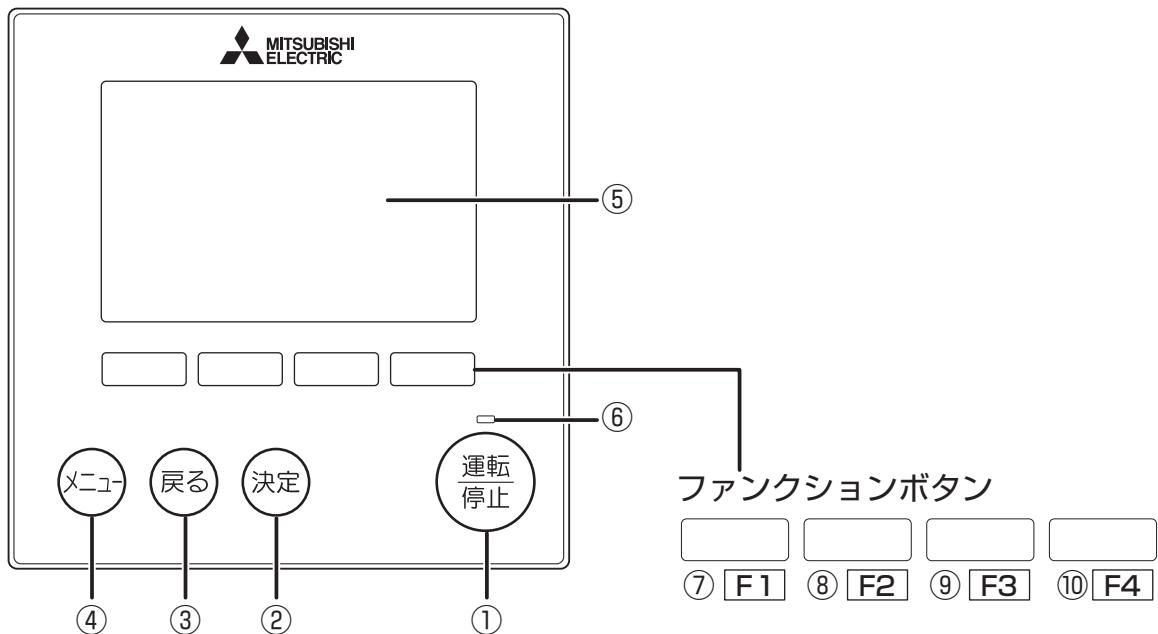
マルチエアコン連動の場合：自動的に送風運転となります。

ME リモコン使用時：送風運転に切換

MA スマートリモコン使用時：送風運転に切換または加湿モード「停止」

＝MAスマートリモコン（PAR-38MA）使用の場合＝

操作部



① 運転 / 停止 ボタン

一度押すと運転し、もう一度押すと停止します。

② 決定 ボタン

設定の決定をします。

③ 戻る ボタン

前の画面に戻ります。

④ メニュー ボタン

メインメニューを表示します。

⑤ 液晶表示部（バックライト付）

運転内容を表示します。

バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。バックライトの点灯時間は画面により異なります。

バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。
バックライトのみ点灯します。
(運転/停止)ボタンは除く)

⑥ 運転ランプ

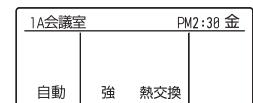
運転中、緑色に点灯します。
立上げ時・異常時は点滅します。

ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。

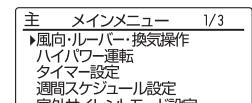
液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してください。

集中管理中、操作ロックにより操作が禁止されている項目に対応する操作ガイドは表示されません。

メイン画面



メインメニュー画面



操作ガイド

⑦ ファンクションボタン F1

メイン画面：加湿モードまたは運転モードを切り替えます。
メインメニュー画面：カーソルが下に移動します。

⑧ ファンクションボタン F2

メイン画面：設定温度を下げます。
メインメニュー画面：カーソルが上に移動します。

⑨ ファンクションボタン F3

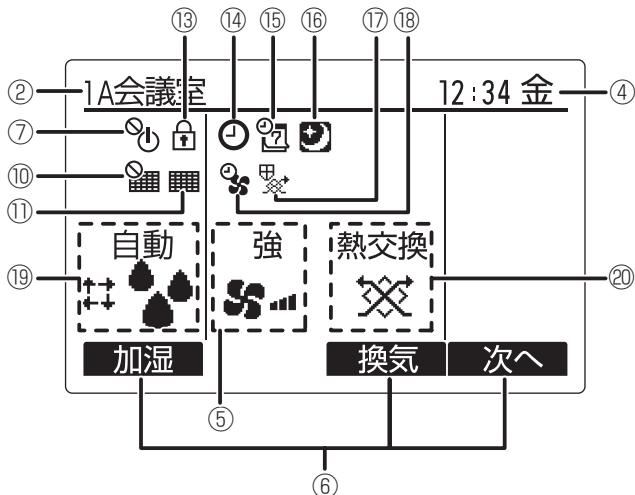
メイン画面：換気モードの切り換えまたは設定温度を上げます。
メインメニュー画面：前のページを表示します。

⑩ ファンクションボタン F4

メイン画面：メイン画面表示を切り替えます。
メインメニュー画面：次のページを表示します。

使いかた つづき

表示部



①運転モード表示

13 ページ

運転モードの状態を表示します。

②リモコン名表示 (リモコンの据付工事説明書(設定編)を参照)

リモコンの名前を表示します。

(異常猶予中は4桁のコードを表示します)

③設定温度表示

13 ページ

設定温度を表示します。

④時刻曜日表示 (リモコンの据付工事説明書(設定編)を参照)

現在の時刻曜日を表示します。

⑤風量表示

12 ページ

風量の状態を表示します。 (強固定)

⑥操作ガイド

ファンクションボタンの機能名を表示します。

⑦ 暑い 表示

発停操作が集中管理中のときに表示します。

⑧ 涼しい 表示

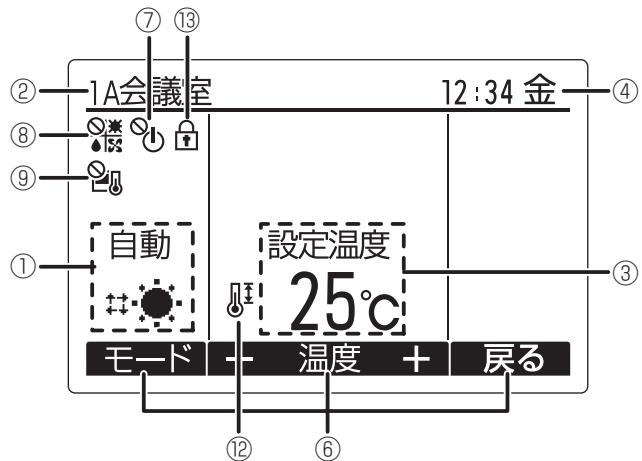
運転モード操作が集中管理中のときに表示します。

⑨ 温度 表示

設定温度操作が集中管理中のときに表示します。

⑩ フィルタリセット 表示

フィルタリセッタ操作が集中管理中のときに表示します。



⑪ フィルタリセット 表示

18 ページ

エアフィルター、ロスナイエレメント、加湿エレメントのメンテナンス時期になると表示します。

⑫ 暑い 表示

設定温度範囲制限設定が有効のときに表示します。

⑬ ロック 表示

操作ロック設定が有効のときに表示します。

⑭ オフ 表示

オン / オフタイマー設定が有効のときまたは消忘れ防止設定が有効のときに表示します。

⑮ タイマー 表示

17 ページ

週間スケジュールタイマー設定が有効のときに表示します。

⑯ ナイトバージ 表示 (外気処理ユニットの据付工事説明書を参照)

ナイトバージ設定が有効またはナイトバージ運転中に表示します。

⑰ 田 表示

機器を保護する運転中に表示します。

⑱ 遅延運転 表示

遅延運転中に表示します。

⑲ 加湿モード表示

12 ページ

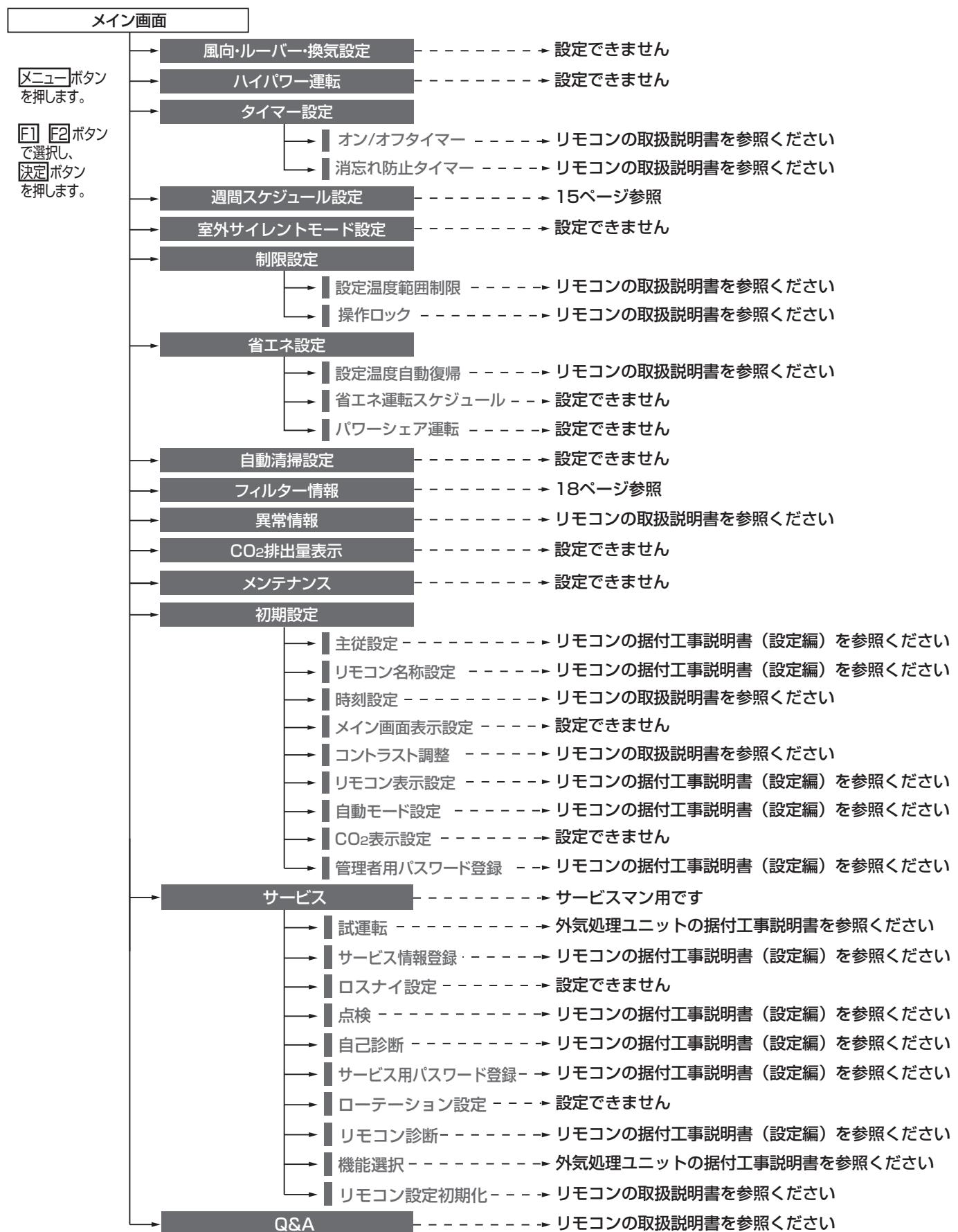
加湿モード状態を表示します。

⑳ 換気モード表示

12 ページ

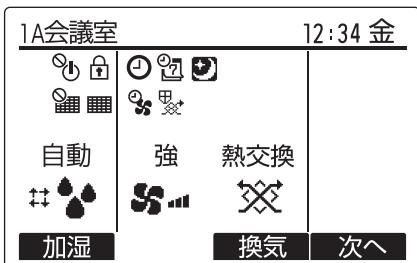
換気モードの状態を表示します。

画面の流れ

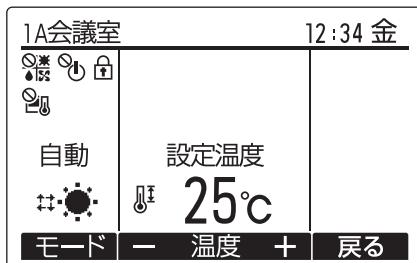


使いかた つづき

操作手順



運転画面1



運転画面2

〈最初の運転〉

運転開始の前に……電源が入っているか確認する

停電や電気工事または外気温度が 10°C 以下で 24 時間以上電源を切って放置した場合

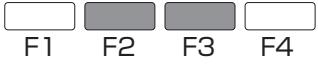
は電源を入れてから 12 時間以上運転をお待ちください。

すぐに運転を開始すると室外ユニットの圧縮機故障の原因となります。

〈通常の運転〉

操作項目	操作部	手 順
①運転開始	運転ランプ 	運転/停止ボタンを押す。 運転ランプ（緑）が点灯
②加湿モード切換	運転画面1 	F1ボタンを押すごとに 「自動」 → 「運転」 → 「停止」 の順に変わります。 状況に合わせて表示が変わる
③風量	運転画面1	「強」 風量固定です。
④換気モード切換	運転画面1 	F3ボタンを押すごとに 「熱交換換気」 固定 → 「普通換気」 固定 → 「自動換気切換」 の順に変わります。 状況に合わせて表示が変わる

- ナイトパージ運転中は「普通換気」 固定になります。
- 「熱交換換気」 ⇄ 「普通換気」 が切り換わる際には、排気用送風機が30秒程度停止します。

操作項目	操作部	手 順								
⑤運転画面の変更	運転画面1・運転画面2 	[F4]ボタンを押す。 「運転画面1」→「運転画面2」の順に変わります。								
⑥運転モード	運転画面2 	[F1]ボタンを押すごとに 「冷房（または除湿）」→「送風」→「自動」→「暖房（または加湿）」の順に変わります。  <ul style="list-style-type: none"> ■室外ユニットの機種により自動、暖房（または加湿）がない場合があります。 ■除加湿優先制御の場合「暖房」を「加湿」、「冷房」を「除湿」と表示します。 								
⑦温度設定	運転画面2 	設定温度は[F2]ボタンを押すごとに1°Cずつ下がり、[F3]ボタンを押すごとに1°Cずつ上がります。 ■除加湿優先制御の場合、温度設定は表示しません。 ■設定できる温度  <table border="1"> <tr> <td>冷房運転</td> <td>暖房運転</td> <td>自動運転</td> <td>送風運転</td> </tr> <tr> <td>19~30°C</td> <td>17~28°C</td> <td>19~28°C</td> <td>設定できません</td> </tr> </table>	冷房運転	暖房運転	自動運転	送風運転	19~30°C	17~28°C	19~28°C	設定できません
冷房運転	暖房運転	自動運転	送風運転							
19~30°C	17~28°C	19~28°C	設定できません							
⑧運転停止	運転ランプ 	[運転/停止]ボタンを押す。 運転ランプが消灯								

※ナイトページ運転中に停止させる場合は[運転/停止]ボタンを押して一旦運転操作した後、2分以上経過後に再度[運転/停止]ボタンを押してください。

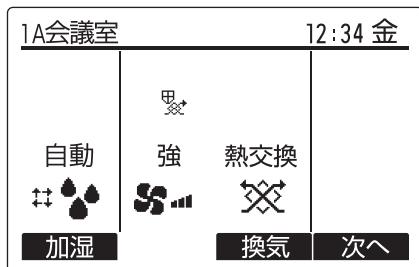
※運転停止操作のため[運転/停止]ボタンを押した後、保護運転アイコンが表示される場合があります。アイコン表示中は機器保護のために送風機が継続運転します。保護運転終了後、アイコン表示が消えます。

※冷風侵入により加湿部が凍結破損、結氷により水漏れする可能性があります。低外気温度時に加湿運転をする際は、室内暖房運転と併用してご使用ください。

使いかた つづき

加湿運転の使いかた

加湿準備運転



加湿運転開始時、給気用送風機を自動停止します。
(加湿エレメントを湿らせ、加湿の立ち上がりを早くするために行います)

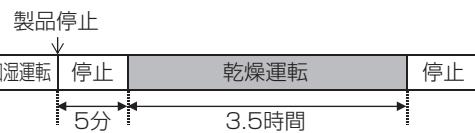
※加湿準備運転中、給気用送風機は約5分間停止します。
※排気用送風機は加湿運転開始時から運転します。

※MAスマートリモコン使用時、加湿準備運転中は アイコンを表示します。

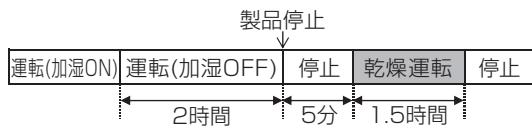
以下の場合、加湿準備運転は実行されません。
加湿運転しない／加湿準備運転を実施後、24時間以内／試運転中

加湿エレメント乾燥運転

1 加湿運転（給水電磁弁ON）中に製品を停止させた場合、停止から5分後に最大3.5時間の乾燥運転を行います。



加湿停止状態で運転した後に製品を停止させた場合、乾燥運転時間は加湿停止状態で運転した分だけ差し引かれます。



運転停止後、加湿エレメントが湿った状態で放置されるのを防ぐために自動で乾燥運転を行います。

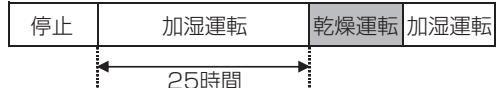
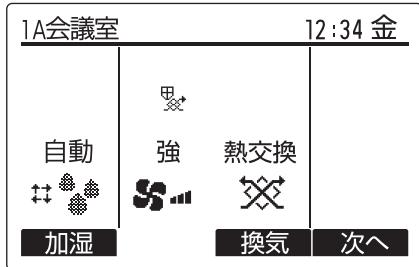
開始時期：運転終了から5分後

乾燥時間：最大3.5時間

※MAスマートリモコン使用時、自動乾燥運転中は アイコンを表示します。

※外気（OA）温度が極端に低いときなど乾燥運転に適さない場合は一時的に乾燥運転を中断します。

2



連続運転等で加湿エレメントの乾燥運転が累積25時間行われなかった場合、加湿エレメントへの給水を一時停止し、自動で乾燥運転を行います。

※MAスマートリモコン使用時、自動乾燥運転中は アイコンを表示します。

※乾燥運転中は換気モード、加湿モードの表示が製品動作と一致しない場合があります。例えば、加湿モード表示が「運転」でも、乾燥運転中は給水電磁弁が OFF となります。

※乾燥運転中に加湿運転（給水電磁弁ON）となったときは、乾燥運転時間はクリアされます。

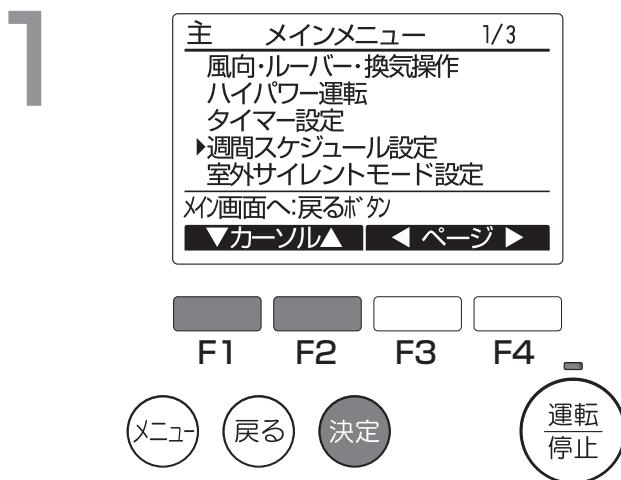
※電源発停機能を併用する場合、製品が停止中は加湿エレメント自動乾燥運転機能が働きません。加湿エレメントを湿らせたまま放置すると腐敗臭を発生するおそれがあるため、加湿運転を停止させ、手動で加湿エレメントの乾燥を行ってから運転を停止してください。

週間スケジュール設定

機能説明

曜日により運転スケジュールを変えたい場合、曜日ごとに運転／停止設定温度をスケジュール設定できます。また、週間スケジュールを2種設定できます。（例：夏用、冬用スケジュール等）オン／オフタイマーが有効の場合、オン／オフタイマーが優先されます。

操作方法



メインメニュー画面で「週間スケジュール設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。

集中管理中（運転/停止、運転モードが禁止の場合）でも、週間スケジュール運転は実行されますが、禁止されている設定内容は実行されません。

以下の場合、週間スケジュール運転は実行されません。

オン/オフタイマー有効中／週間スケジュール無効中／異常中／点検中（サービスメニュー内）／試運転中／リモコン診断中／時刻未設定／機能選択中／集中管理中（タイマー機能が禁止の場合）



現在の設定状況が表示されます。

F1 **F2** ボタンで月～日曜日までの設定内容が確認できます。

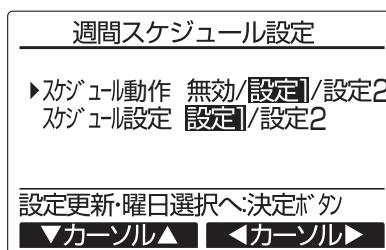
F3 ボタンでパターン5～8を表示します。

F4 ボタンで設定2の設定状況が表示されます。

設定画面へ進むには**決定**ボタンを押します。

使いかた つづき

3



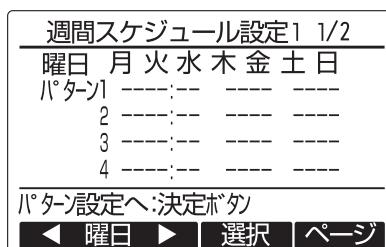
週間スケジュール設定画面が表示されます。

スケジュールを有効にする場合は、F3 F4 ボタンで「設定 1」、「設定 2」を選択し、**決定**ボタンを押します。

F1 F2 ボタンで[スケジュール動作]の「設定 1」を選択したときは「設定 1」の内容が実行されます。「設定 2」を選択したときは「設定 2」の内容が実行されます。

スケジュールを設定する場合は、F1 F2 ボタンで「スケジュール設定」を選択し、F3 F4 ボタンで「設定 1」、「設定 2」を選択し、**決定**ボタンを押します。

4



週間スケジュール設定画面が表示されます。

現在の設定状況が表示されます。

1日8パターンまで設定できます。

パターン設定を行う場合は、F1 F2 ボタンで曜日を選択し、F3 ボタンを押して設定する曜日を確定します。
(曜日は複数選択できます)

ご希望の曜日を選択した後、**決定**ボタンを押します。

5

週間スケジュール1設定 1/2

曜日	木
パターン1	PM11:35 運転 強
2	-----
3	-----
4	-----

設定更新:決定ボタン
▼カーソル▶ - 内容 +

F1 F2 F3 F4

メニュー 戻る 決定 運転停止

パターン設定画面が表示されます。

[F1]ボタンでパターンを選択します。

[F2]ボタンで「時刻」「運転/停止」を選択します。

[F3][F4]ボタンでご希望の設定に切り替えます。

■時刻 5分単位で設定

※ボタンを押し続けると連続で数字が変わります

■運転/停止 「運転」「停止」「---」(変更しない)

■風量：「強」「---」(変更しない)

風量は変更できません。「強」風量固定となります。

ご希望の設定に切り換えた後、[決定]ボタンを押します。
設定確定画面が表示されます。

週間スケジュール1設定

曜日	木
----	---

週間スケジュール設定を更新しました。

曜日選択へ:決定ボタン

画面移動方法

■設定更新・曜日選択画面に戻る・・・[決定]ボタン

■メインメニュー画面へ戻る・・・[メニュー]ボタン

■前の画面に戻る・・・[戻る]ボタン

6

1A会議室		PM2:30 金
自動 #[滴	(回)	
強 #[強	熱交換 #[強	
加湿 #[滴	換気 #[強	次へ

当日実行する週間スケジュール設定があるとき、運転画面1に「⑦」が表示されます。

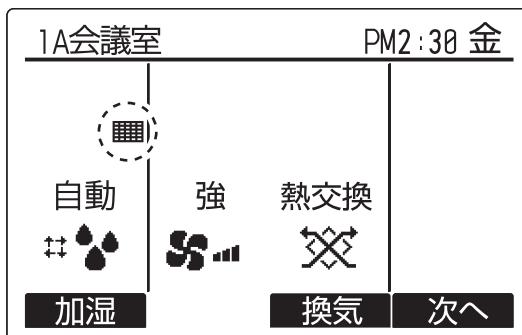


オン/オフタイマー有効中は表示されません。

■リモコンが2台ある場合、「主」設定されたリモコンのみアイコンが表示されます。

使いかた つづき

フィルター情報・清掃サイン解除

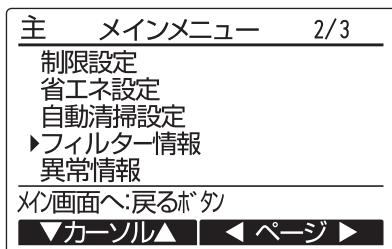


エアフィルター、ロスナイエレメント、加湿エレメントのうち、いずれかがお手入れ時期になると、運転画面1に「■」が表示されます。

各部位のメンテナンスを行ってください。

操作方法

1

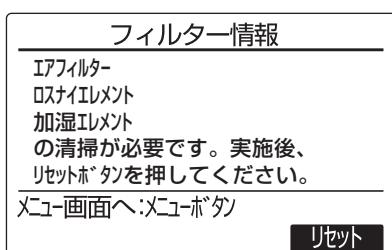


メインメニュー画面で「フィルター情報」を選択し、**決定**ボタンを押します。

F1 F2 F3 F4

メニュー 戻る 決定 運転
停止

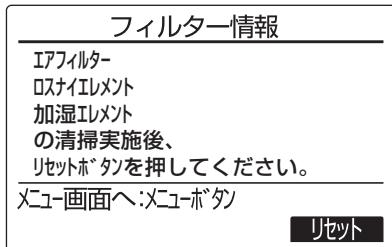
2



エアフィルター、ロスナイエレメント、加湿エレメントのうち、お手入れ時期になった部位が表示されます。
フィルター情報をリセットする場合は**F4**ボタンを押します。

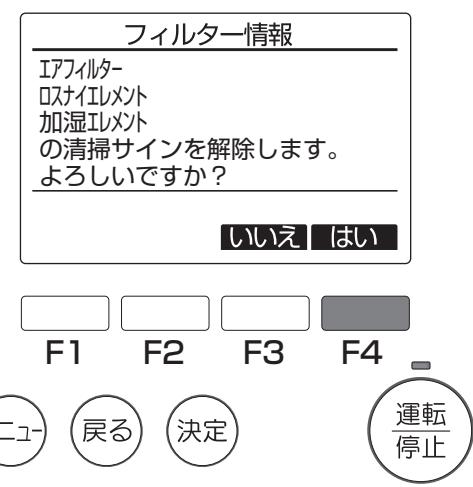
F1 F2 F3 F4

メニュー 戻る 決定 運転
停止

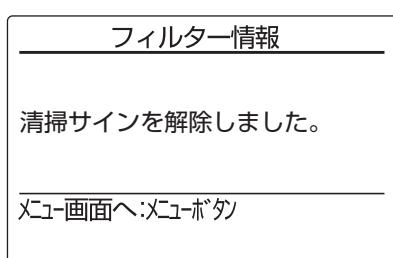


■全ての部位がお手入れ時期に達していない場合は、左のような画面が表示されます。
この状態でもリセット可能です。

3



[F4]ボタンで「はい」を選択します。

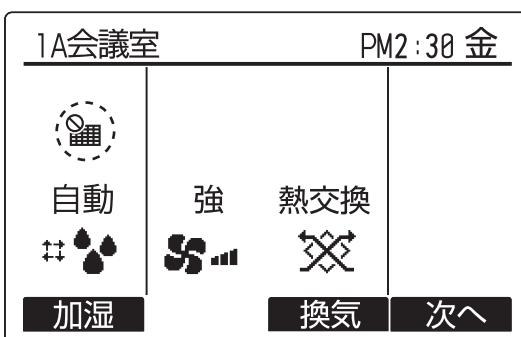


設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… [メニュー]ボタン
- 前の画面に戻る… [戻る]ボタン

4



メイン画面に「」が表示されるときは、集中管理中のため清掃サインを解除することはできません。

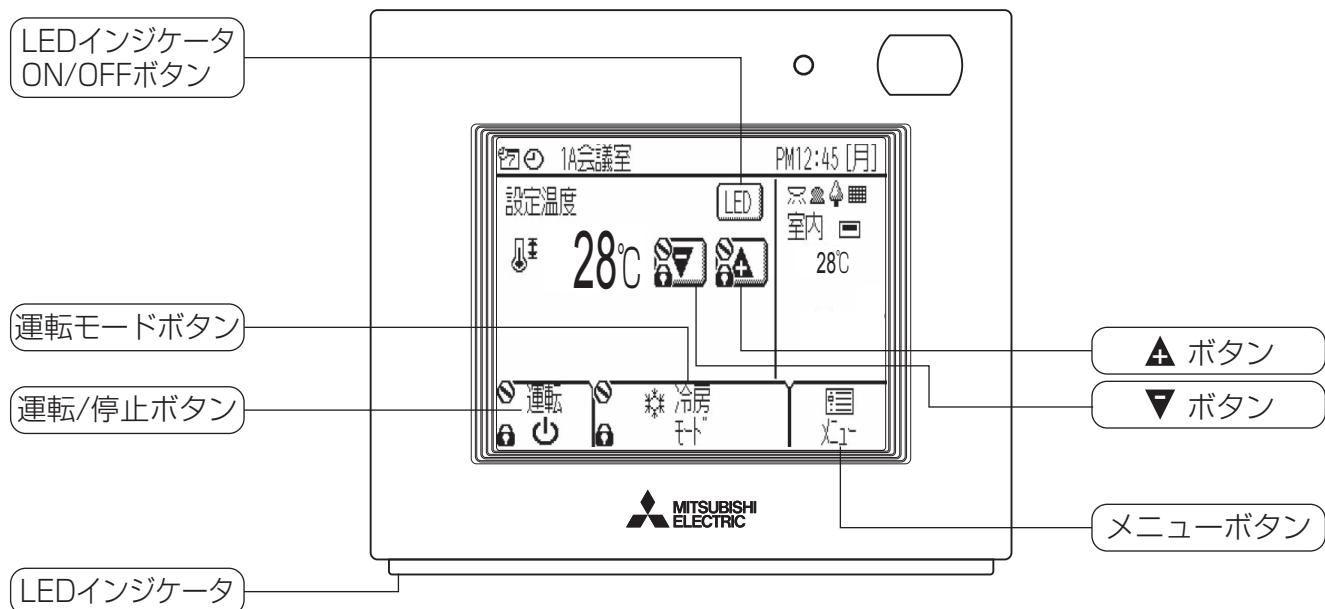
2台以上の外気処理ユニットが接続されている場合、各部位によって清掃時期が異なる場合があります。

「」表示は、代表機種（親機）の清掃時期になると表示されます。また、清掃サインの解除を行うと全てのユニットの積算時間がリセットされます。

「」表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安に表示しているものです。環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

使いかた つづき

ME リモコン (PAR-F30ME1) 使用の場合



※その他画面表示の説明は、MEリモコンの取扱説明書をご覧ください。

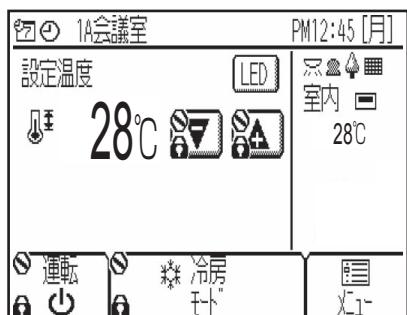
※ ME リモコンをご使用の場合、以下の機能が使用できません。

1. ナイトページ機能
2. 温度設定（除加湿優先制御）
3. 換気モード操作（「自動」固定です）
4. 加湿モード操作（「自動」固定です）
5. ロスナイエレメント、加湿エレメントのメンテナンス表示

※機器保護のため、リモコンの表示部に表示されなくても機器が運転する場合がありますが異常ではありません。

31 ページをご参照ください。

操作手順



[ホーム画面]

〈最初の運転〉

運転開始の前に……電源が入っているか確認する。

停電や電気工事または外気温度が 10°C 以下で 24 時間以上電源を切って放置した場合は電源を入れてから 12 時間以上運転をお待ちください。
すぐに運転を開始すると室外ユニットの圧縮機故障の原因となります。

〈通常の運転〉

操作項目	操作部	手順								
①運転開始		<p>[運転／停止] ボタンにタッチし、運転 / 停止を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none">・運転中のとき、LED インジケータが点灯します。・LED インジケータは、設定により異なります。								
②運転モードの設定		<p>[運転モード] ボタンにタッチして、運転モードを設定します。</p> <p>▶ 冷房 → 送風 → 自動 → 暖房 ▶</p> <p>の順に設定が切り換わります。</p> <p>※ 設定できない運転モードは表示されません。</p>								
③設定温度の変更 (外気温度制御のみ)		<p>▲ ボタンで、設定温度が上がります。</p> <p>▼ ボタンで、設定温度が下がります。</p> <ul style="list-style-type: none">● 1 回押すごとに設定温度を 1°C 变えられます。● 設定できる温度は次の通りです。 <table border="1"><tr><td>冷房運転</td><td>暖房運転</td><td>自動運転</td><td>送風運転</td></tr><tr><td>19 ~ 30°C</td><td>17 ~ 28°C</td><td>19 ~ 28°C</td><td>設定できません</td></tr></table> <p>※ 工場出荷時（除加湿優先制御）では設定温度の表示は切り換わりますが、実際の制御温度は変わりません。</p> <p>※ デュアルオートモードには対応していません。</p>	冷房運転	暖房運転	自動運転	送風運転	19 ~ 30°C	17 ~ 28°C	19 ~ 28°C	設定できません
冷房運転	暖房運転	自動運転	送風運転							
19 ~ 30°C	17 ~ 28°C	19 ~ 28°C	設定できません							
④風量		「強」風量固定です。								
⑤運転停止		<p>[運転／停止] ボタンにタッチし、運転 / 停止を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none">・停止中のとき、LED インジケータが消灯します。								

お手入れ [工事店様用]

外気処理ユニットの機能低下を防ぐため、エアフィルター・ロスナイエレメント・加湿エレメント・エリミネーターに付着したごみ・ほこりを定期的に清掃をしてください。

製品内にもごみ・ほこりがたまっている場合は、製品内も清掃してください。

また、霧や高湿度な外気を吸い込むことにより、製品内部に水が付着していることがあります。

ウエス等で拭きとってください。

目安 エアフィルター…………… 1年に1回以上

(または、MAスマートリモコン(PAR-38MA)、MEリモコン(PAR-F30ME1)でフィルター清掃表示がされたとき)

ロスナイエレメント ………… 2年に1回(できるだけ、1年に1回)以上

(または、MAスマートリモコン(PAR-38MA)でロスナイエレメント清掃表示がされたとき。できるだけ1年に1回以上行ってください)

(汚れの程度に応じて清掃回数は増やしてください)

(雨水等の浸入によりロスナイエレメントが縮むことがあります。縮みによりすき間が発生している場合はロスナイエレメントの交換をお願いします)

製品内部(OA底面)…………… 水が付着(溜まっている)していたらやわらかい布でふき取ってください

加湿エレメント、エリミネーター… 1年に1回以上

(または、MAスマートリモコン(PAR-38MA)で加湿エレメント清掃表示がされたとき)

※加湿エレメント、エリミネーターのお手入れは、工事店様にご依頼ください。

お願い

- 霧・もや・高湿度な空気を吸込むとエアフィルター、ロスナイエレメントから水滴が垂れて機外に水が漏れることができます。

製品内に水滴が付着している場合は製品内の水滴をふき取ってください。



警告

- お手入れの際は、必ず分電盤のブレーカーを切る
(お手入れ中に保護運転がはたらくのを防ぐため。
通電状態では感電やケガをすることがあります)



注意

- お手入れの際は手袋を着用する
(着用しないとケガの原因になります)
- お手入れ後の部品の取付けは確実に行う
(落下によりケガをすることがあります)

■ロスナイエレメント、エアフィルター、加湿エレメント、エリミネーターの数は機種により異なります。
下表をご覧ください。

機種	ロスナイエレメント	エアフィルター	加湿エレメント	エリミネーター
LB-150DF7タイプ	3個	6枚	6個	6枚
LB-200DF7タイプ	4個	8枚	8個	8枚

1

脚立の用意

- 脚立を用意する。

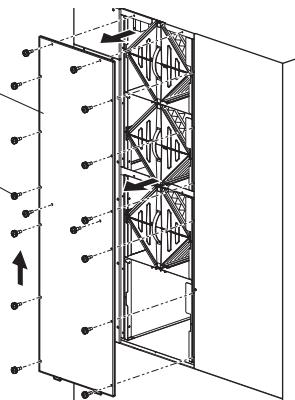
お願い

- 足元が不安定な状態で部品の着脱を行わないでください。

2

メンテナンスパネルをはずす

メンテナンスパネル
ツマミネジ



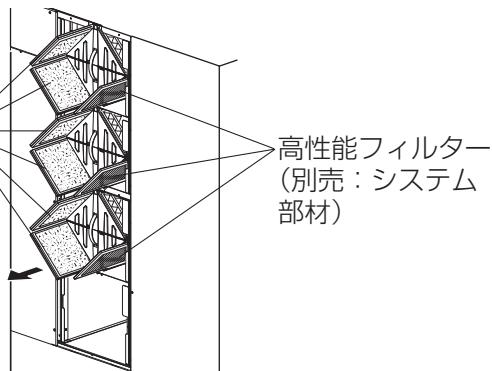
1. ツマミネジをゆるめる。
2. メンテナンスパネルを、上に持ち上げてはずす。

3

エアフィルター・高性能フィルターを引き出す

エアフィルター

高性能フィルター
(別売: システム
部材)



形名	エアフィルター枚数	高性能フィルター枚数
LB-150 タイプ	6	3
LB-200 タイプ	8	4

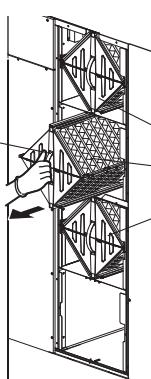
- エアフィルターはロスナイエレメント左側上下に各 1 枚ずつ入っています。
- 高性能フィルターはロスナイエレメントの右下側に 1 枚ずつ入っています。

4

ロスナイエレメントを引き出す

取っ手

ロスナイエレメント



- 取っ手を持ち、本体から引き出す。
(ロスナイエレメントの数は機種により異なります)
LB-150 タイプ……3 個
LB-200 タイプ……4 個

お手入れ [工事店様用] つづき

5 エアフィルターの清掃



1. 掃除機でほこりを吸い取る。
2. 汚れのひどい場合は、水または、ぬるま湯(40℃以下)に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かす。

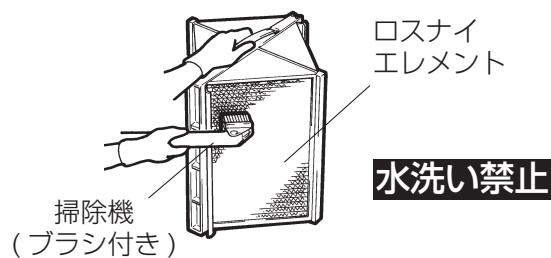
メモ

- 交換用のエアフィルターがシステム部材として、用意されていますので古くなったエアフィルターは交換してください。

お願い

- 熱湯で洗ったり、もみ洗いはしないでください。
- 直接火にあてて乾かすことはしないでください。
- エアフィルターを出し入れするときはロスナイエレメントの表面を傷つけないようていねいに扱ってください。
- エアフィルターは表示の向きに従って取付けてください。

6 ロスナイエレメントの清掃



- 掃除機で表面のごみ・ほこりを吸い取る。
(掃除機のノズルは、ブラシ付きのものを使用し、ブラシを軽くあてて清掃します)

お願い

- 掃除機のかたいノズルをあてないでください。ロスナイエレメントの表面が傷つきます。
- ロスナイエレメントは、絶対に水洗いしないでください。

7 高性能フィルター（別売：システム部材）の交換

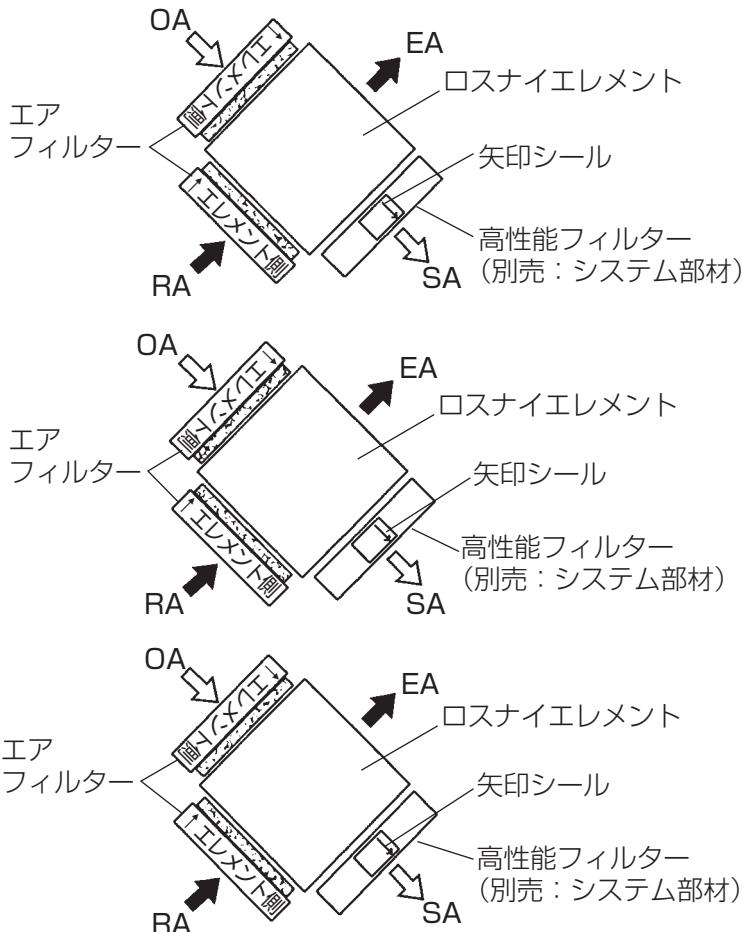
システム部材の高性能フィルターをご使用の際は、購入のうえ取付けてください。

形名	高性能フィルター形名
LB-150 タイプ	PZ-N150LBFM2 (2セット必要、1枚予備となります)
LB-200 タイプ	PZ-N150LBFM2 (2セット必要)

8

お手入れ後の組立て

フィルター取付位置



- 取りはずしと逆の順序で取付ける。

エアフィルターは左図に示す位置に取付けてください

↑エレメント側 の表示をロスナイエレメント側にします

- 高性能フィルターはロスナイエレメント右下側に矢印シールが手前になるよう(矢印の向きが右下側)取付ける。
- リモコンを使用の場合は清掃終了後、フィルタリセットを行ってください。

お願い

- エアフィルターを入れ忘れないようにしてください。フィルターを入れ忘るとロスナイエレメントにごみが詰まり、機能低下の原因になります。

お願い

衛生的な空調を行うために、運転停止時に加湿エレメントが湿った状態で長時間放置されることは望ましくありません。以下の運転を実施し、加湿エレメントをよく乾燥させてください。

- 加湿シーズン終了後や加湿シーズン中においても長期間(2~3週間以上)加湿機能を運転しない場合は、給水バルブまたはサービス弁を閉止し、排水弁を用いて製品本体内の水抜きを実施した上で、加湿「切」、「ロスナイ換気」運転で累計3.5時間以上送風機を運転し、加湿エレメントの乾燥運転を行ってください。
 - ・乾燥運転を行わないまま長時間放置すると異臭が発生する場合があります。
 - ・給水バルブまたはサービス弁を閉止しないと、凍結・ウォーターハンマー等の影響により給水電磁弁・ストレーナーが破損し水漏れの原因となります。
- 異臭の発生した加湿エレメントは交換が必要になります。
- 製品を運転しない場合には、凍結防止のため水抜きの実施またはヒーターの電源を入れる等の処置をしてください。(製品外部の排水弁を用いて、製品内の水抜きを実施してください)
- 加湿シーズン中(夜間)に、室内の他のマルチエアコンを全て停止し、外気処理ユニットのみ運転する場合は、加湿をOFFして運転するようにしてください。室温が下がり、加湿により結露が発生するおそれがあります。加湿OFFのために以下のようにしてください。

マルチエアコン連動の場合：自動的に送風運転となります。

ME リモコン使用時：送風運転に切換

MA スマートリモコン使用時：送風運転に切換または加湿モード「停止」

保守点検 [工事店様用]

長い間ご使用いただくため、1年に1回を目安に下記の点検を工事店にご依頼ください。外気処理ユニットを数シーズン使用すると内部が汚れて性能が低下します。臭いが発生したりごみやほこりなどによりドレンホースが詰まり、外気処理ユニットから水漏れまたは、異常停止することがあります。

通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。

■ 保守点検の際は、必ず本体の元電源をブレーカー等で遮断する。(点検中に保護運転がはたらくのを防ぐため)

■ 加湿部の清掃時は、洗浄剤などを使用しないでください。

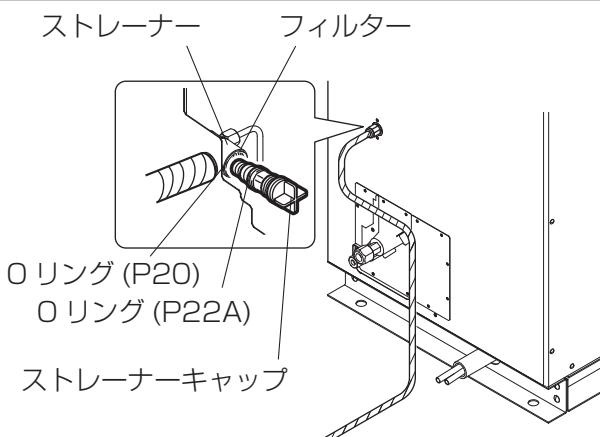
点検部品	保守点検内容		保守を怠った場合
	点検項目	処置方法	
ストレーナー	ごみによる目づまりの点検	目づまりが生じている場合は洗浄	加湿不能
	Oリング亀裂の点検	亀裂が生じている場合は交換 ※注1	水漏れ
給水管	傷や水漏れの点検	傷や水漏れがある場合は部品交換	水漏れ
給水電磁弁	水漏れの点検	水漏れがある場合は部品交換	水漏れ
エリミネーター	ごみ・ほこり、蒸発残留物による目づまりの点検	ごみ・ほこり、蒸発残留物を掃除機で吸い取る。汚れのひどい場合はぬるま湯(40℃以下)で洗い、よく乾かす	風量低下 加湿能力低下
ドレン皿	ドレン皿表面のごみ・ほこり点検	付着している場合は、ふき掃除を行う	風量低下、ごみ・ほこりの異物室内落下
	ドレン皿排出口のごみ・ほこり点検	排出口にごみ詰まりが生じている場合はふき掃除または洗浄を行う	水漏れ 異常停止
加湿エレメント	ごみ・ほこり、蒸発残留物の点検	ごみ・ほこり、蒸発残留物で風路がふさがれている場合は掃除機で傷つけないよう清掃、または29ページを参照し水洗いをする	風量低下 加湿能力低下 白粉飛散、臭い発生
温湿度センサー	目視点検	断線・ショートの場合は部品交換	加湿、除湿能力低下

※注1……交換用Oリング：市販品 P22A、P20

—ドレン皿・加湿エレメント・エリミネーターの清掃時の注意事項—

- シンナー・ベンジンなどの溶剤や、酸性またはアルカリ性の洗剤、ナイロンたわしなどは使用しないでください。(プラスチックを劣化させます)
- 切削油などの油が付着した場合には多量の水で洗い流してください。ドレン皿の汚れがひどい場合には中性洗剤を使用し、その後十分に洗剤分を洗い流してください。(プラスチックを劣化させます)
- 40℃以上の湯や洗剤は使用しないでください。(変形のおそれがあります)

ストレーナの清掃のしかた



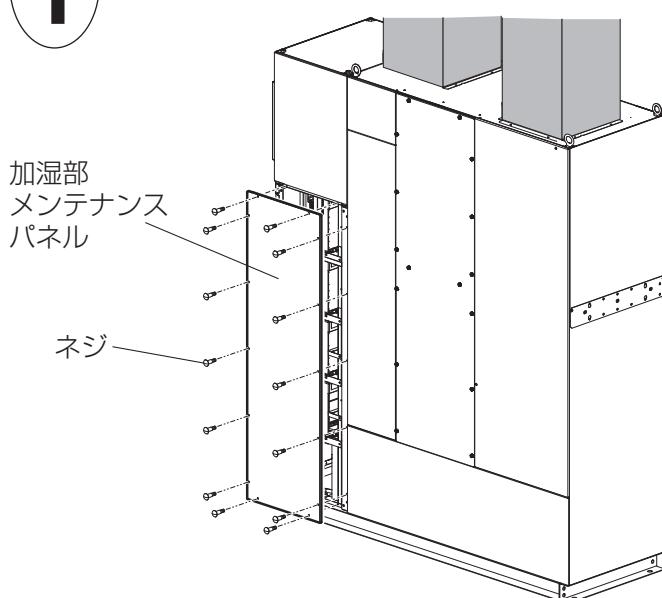
- 1.サービス弁を閉じる。(残留水の飛散防止のため)
- 2.メンテナンスパネル(加湿用)をはずす。(ネジ14本)
- 3.ストレーナキャップを反時計回りに回してはずす。
- 4.フィルターをはずして、内側に付着した汚れを水で洗い落とす。
- 5.ストレーナキャップを取り付ける。
- 6.メンテナンスパネル(加湿用)を取付ける。
- 7.サービス弁を開く。

お願い

- キャップは、水漏れしないよう確実に締め付けてください。

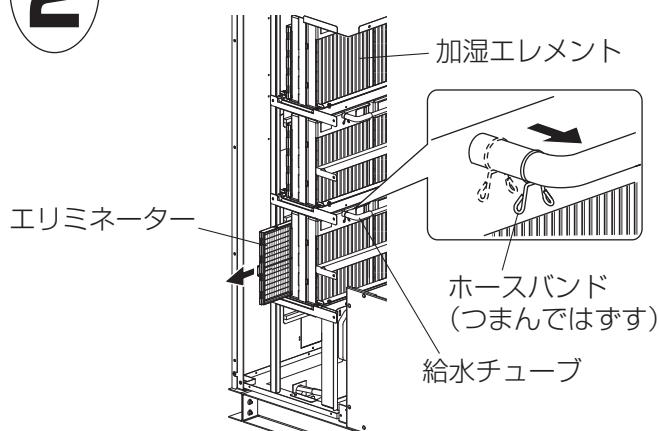
加湿エレメントの交換のしかた

1 加湿部メンテナンスパネルをはずす



●ネジをはずして、手前に引きはずす。

2 加湿エレメント、エリミネーターを引き出す



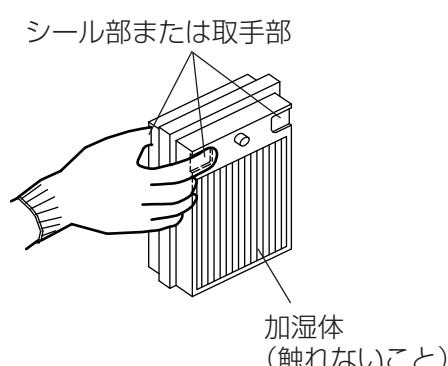
1. エリミネーターを取り出す。
(エリミネーターは連結されています)
2. 手前の加湿エレメントに入る給水チューブをはずし、加湿エレメントを取り出す。
3. 奥の加湿エレメントも同様に給水チューブをはずしてから取り出す。

加湿エレメント数量

150 タイプ	3 列	6 個
200 タイプ	4 列	8 個

お願い

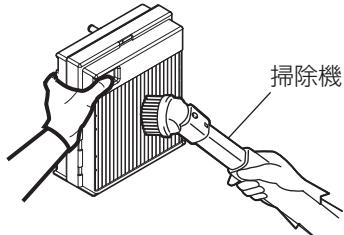
- 加湿エレメントと一緒に給水チューブも引き出してください。(チューブ内部に残っている水をドレン皿に出してください)
- 給水チューブは、折り曲げ・引っ張りなどしないでください。
- 加湿エレメントの引き出しの際は、加湿エレメントの「ここを持つ」表示がある取手部をつかんで引き出してください。加湿体(白色部)には触れないでください。(破損や水漏れの原因となります)



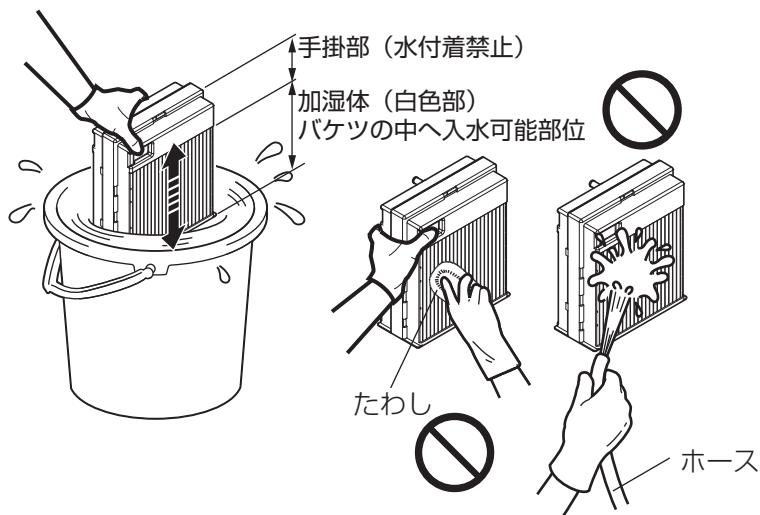
保守点検 [工事店様用] つづき

加湿エレメントの水洗いのしかた

〈掃除機による清掃〉



〈水洗いによる清掃〉



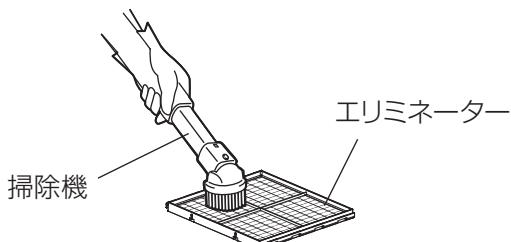
加湿エレメント表面にごみ・ほこり、蒸発残留物が付着した場合は、掃除機で加湿エレメント表面を傷つけないよう吸い取る。

よごれがひどい場合は、バケツなどに水を入れ加湿エレメントを4~5回揺らすように上下させて、ごみ・ほこりを洗い流す。バケツでごみ・ほこりを洗い流す場合は、加湿体（白色部）を水中に入れ、手掛け部には水を付けないようにしてください。（性能低下の原因になります）

お願い

- たわしでこすったり、直接ホースで水をかけないでください。（加湿エレメントが破損の原因となります）
- 蒸発残留物は全ては落としきれません。残留物の付着が多く加湿量が少ないと感じられる場合には、加湿エレメントを交換してください。交換時期の目安は32ページをご参照ください。
- 加湿エレメントは分解して清掃をしないでください。（破損・水漏れ・性能低下の原因になります）
- 加湿エレメントを落としたり衝撃が加わらないようにしてください。
- 40°C以上の湯や洗剤は使用しないでください。

エリミネーターの清掃のしかた



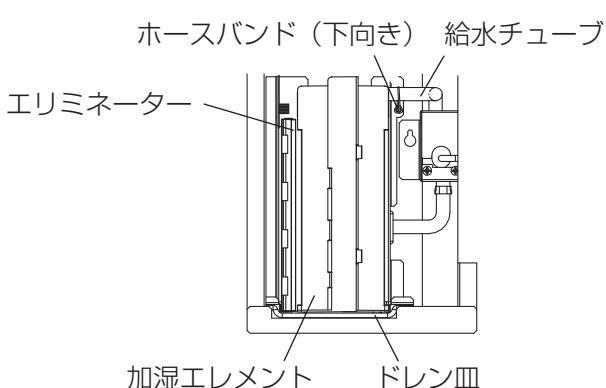
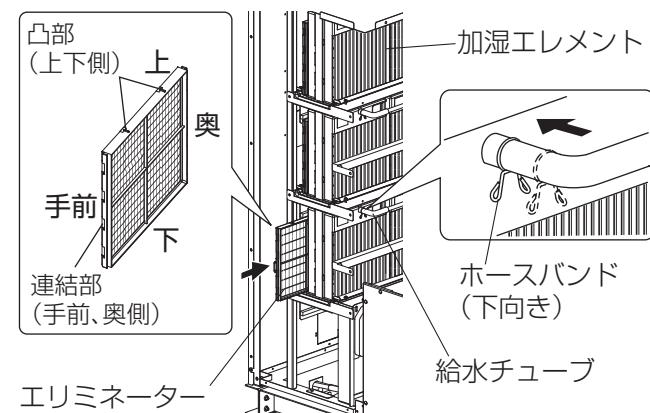
掃除機などでほこりを吸い取る。汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯（40°C以下）で洗い、よく乾かす。

お願い

- 水洗いしたエリミネーターは日陰で十分乾かしてください。
- ブラシやタワシを使用して洗わないでください。
- 洗っても汚れが落ちない場合は、エリミネーターを交換してください。

保守点検後の組立て

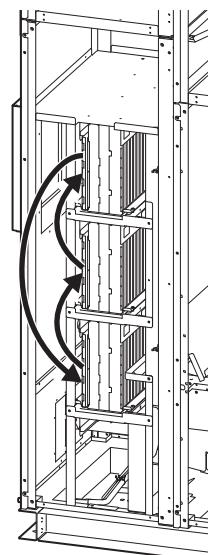
1 加湿エレメント、エリミネーターを取付ける



- 奥の加湿エレメントから順に、給水チューブを付けながら入れる。

- 下段にあった加湿エレメントを上段に入れ替え、ローション設置を行う。(不純物や混入物質の堆積を均一化させるため)

※図は LB-150DF7 を示す。



- エリミネーター、加湿エレメントに倒れや傾き、ズレがないことを確認する。(正しく取付けられていないと、ごみ・ほこりの異物室内落下や水漏れの原因となります)

2 加湿部メンテナンスパネルを取付ける

- 取りはずしと逆の順序で行う。

保守点検後の確認

1.サービス弁を必要に応じて開けます。

- 夏期は加湿を必要としない場合が多いため、サービス弁を閉じておくことをおすすめします。

2.冬期(加湿時期)は凍結防止用ヒーターの工事がしてある場合はヒーターの電源が入っているか確認してください。

3.試運転を行い、水漏れがないことを確認してください。

「故障かな？」と思ったら

次のような現象が生じた場合は下表を参考してお客様自身で処置をしてください。

現象	原因	処置
換気しない	<ul style="list-style-type: none">●マルチエアコンとの連動で使用している場合で、マルチエアコンが運転していない。●元電源が入っていない。●エアフィルター・ロスナイエレメントが目詰まりしている。	<ul style="list-style-type: none">●マルチエアコンを運転し、外気処理ユニットの運転を確認する。●元電源を入れる。●「お手入れ」に従って清掃する。
停止しない	<ul style="list-style-type: none">●マルチエアコンとの連動で使用している場合で、マルチエアコンが運転している。●外気処理ユニットが単独で運転している。	<ul style="list-style-type: none">●マルチエアコンの運転を停止する。●機器を保護するための運転を行っている場合は、アイコン表示が出ていますので確認してください。
加湿しない	<ul style="list-style-type: none">●マルチエアコンとの連動で使用している場合で、マルチエアコンが暖房モードになっていない。●給水されていない。●MAスマートリモコン (PAR-38MA) で加湿モードが「停止」になっている。	<ul style="list-style-type: none">●暖房モードにする。●サービス弁または元栓を開く。●加湿モードを「運転」または「自動」にする。
よく冷えない よく暖まらない	<ul style="list-style-type: none">●制御タイプ設定を外気温度制御で使用している場合で設定温度が低い。●制御タイプ設定を外気温度制御で使用している場合で設定温度が高い。●エアフィルターが汚れ、目詰まりしている。●室外ユニット周囲空間がふさがれている。	<ul style="list-style-type: none">●設定温度を調節してください。●エアフィルターの清掃をしてください。●室外ユニットの吹出口、吸入口付近の空間を広く開けてください。
リモコンの表示が点灯しない	<ul style="list-style-type: none">●元電源が切れている。	<ul style="list-style-type: none">●元電源を入れてください。
運転ボタンを押したのに運転しない 点灯したりモコンの運転表示が消える	<ul style="list-style-type: none">●外気処理ユニットの元電源が切れている。	<ul style="list-style-type: none">●元電源を入れてください。
リモコンのタイマー運転セットができない	<ul style="list-style-type: none">●MAスマートリモコン (PAR-38MA)、MEリモコン (PAR-F30ME1) のタイマー設定が無効となっている。	<ul style="list-style-type: none">●タイマー設定を有効にしてください。●MAスマートリモコン (PAR-38MA) ではタイマー設定が有効なときはリモコンに10ページの⑭または⑮表示が出ていますので確認してください。
加湿が乗らない (湿度が低い)	<ul style="list-style-type: none">●エアフィルター、ロスナイエレメントが目詰まりしている。●マルチエアコンが冷房運転している。●ストレーナーが目詰まりしている	<ul style="list-style-type: none">●22ページの「お手入れ」に従って清掃してください。●マルチエアコンを送風運転してください。●制御タイプ設定を外気温度制御で使用している場合でマルチエアコンの冷房運転を継続する場合は、リモコン設定温度を高く設定してください。●「保守点検」に従って清掃してください。
吹出し空気が臭う	<ul style="list-style-type: none">●運転開始時、外気処理ユニット内部にたまつた外気に含まれる臭いを吹出すためです。	<ul style="list-style-type: none">●エアフィルター、ロスナイエレメント、加湿エレメントの清掃をしてください。

上記の処置をしても改善されない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

また、リモコンに何らかの点検コード表示（4桁）が表われたときはその内容を、お買上げの販売店にご相談ください。

次の場合は異常ではありません。

音がする	<ul style="list-style-type: none"> ●運転中や停止時に「シュル、シュル」などと音がすることがあります。これは本体内部の冷媒が流れる音です。 ●冷暖房運転の開始後と停止したのちに「ピシッ」と音がすることがあります。温度変化で金属部分が膨張・収縮しておこる音です。
暖房運転時に冷たい風が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●外気処理ユニットからの吹き出し空気をマルチエアコンシステムによっては直接室内へ吹き出すことがあります。この吹き出し方法においては次に示すようなとき暖房運転中に冷風が吹き出します。吹き出し方向を変えるなどしてご使用ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・運転開始時 ・運転を停止して再度すぐに（3分以内）運転したとき ●室内湿度が高いと、自動的に加熱加湿運転を停止します。 ●加湿運転を停止していませんか？ 加湿停止中は室温上昇を防ぐために加熱運転を停止します。
送風運転時（ナイトページ運転時を含む）に暖かい風が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●他のマルチエアコンや外気処理ユニットが暖房運転していると、本体内部の冷媒がわずかに流れ、温風が吹き出します。
水が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●冷房運転中はドレン水がドレン排出口より出ます。 ●加湿運転中は滴下気化式のため、絶えず水がドレン排出口より出ます。
暖房運転時にすぐに風が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●十分に暖かな風をお届けするため準備中です。 リモコンに“暖房準備中”が表示されます。そのままお待ちください。
暖房運転中、運転が止まる	<ul style="list-style-type: none"> ●外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。
再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したが動かない	<ul style="list-style-type: none"> ●約3分間お待ちください。外気処理ユニットを保護するために停止しています。
リモコンに“Please Wait”的表示が出る (MAスマートリモコン)	<ul style="list-style-type: none"> ●初期設定（約3分）を行っているためです。そのままお待ちください。 停電からの復帰時や、室外ユニットまたは外気処理ユニットの電源を入れ切した場合などに表示します。
運転／停止ボタンを押さないのに動きだした	<ul style="list-style-type: none"> ●オンタイマー運転をしていませんか？ 運転／停止、消忘れ防止ボタンを押して停止してください。 ●遠方コントロールが接続されていませんか？ 運転を指示したところへ連絡・確認してください。 ●「」アイコンが点灯していませんか？ 運転を指示したところへ連絡・確認してください。 ●停電自動復帰を設定していませんか？ 運転／停止ボタンを押して停止してください。 ●外気が低温になると給水電磁弁が凍結するのを防止するために排気用送風機のみ運転します。 ●加湿運転停止から5分後最大3.5時間自動送風運転し、加湿エレメントを乾燥させます。
運転／停止ボタンを押さないのに停止した (運転しない)	<ul style="list-style-type: none"> ●オフタイマー、消忘れ防止運転をしていませんか？ 運転／停止ボタンを押して運転を再開してください。 ●遠方コントロールが接続されていませんか？ 停止を指示したところへ連絡・確認してください。 ●「」アイコンが点灯していませんか？ 停止を指示したところへ連絡・確認してください。 ●外気が低温のときは一時的に運転を停止します。 MAスマートリモコン(PAR-38MA)で使用時、アイコンを表示します。 ●遅延設定されている場合は30分後または15分後に運転します。

アフターサービス

アフターサービスはお買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」(別紙)にご相談ください。別紙チラシが不明な方は下記窓口へお問い合わせください。

■ご相談窓口

平日 9:00 ~ 19:00

土・日・祝 9:00 ~ 17:00

三菱電機冷熱相談センター 電話 0037-80-2224 (無料)

※電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

異音がする、風が出ないなど異常があれば電源を切って、お買上げの販売店へご連絡ください。
点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこの外気処理ユニットの補修用性能部品を製造打切り後9年保有しています。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■メンテナンスについて

部品の交換時期はご使用条件によって大きく異なりますが主なメンテナンス部品の一般的な交換目安は以下の通りと考えています。(交換の目安は保証期間を示しているではありませんのでご注意ください)

- ・ロスナイエレメント：10年程使用できます。
- ・エアフィルター：定期的な清掃が実施されれば5年程使用できます。
- ・モーター：30,000時間
- ・制御基板：25,000時間
- ・温湿度センサー：5年
- ・サーミスター：5年
- ・ストレーナー：10年
- ・電磁開閉器：10年

加湿エレメントの交換の目安について

- ・加湿エレメントは交換が必要な消耗部品です。
- ・使用過程において加湿量が少なくなった場合は、加湿エレメントの交換をしてください。(お客様ご負担)
- ・交換の目安は下記の通りとなります。

	硬度70以下	硬度100
交換の目安	3シーズン(3,750時間)	2シーズン(2,500時間)

●上記は使用シーズン(加湿運転時間)です。使用シーズン数、加湿運転時間のどちらかが上記に達する時間を交換の目安としてご検討ください。

[参考] 1日10時間 / 日 × 125日 / 1シーズン = 1,250時間 / 1シーズンのご使用を想定しています。

●供給水(水道水)中の硬度、イオン状シリカ、酸消費量が多い場合は、加湿エレメントの劣化が早まり、加湿能力の低下、変色、白粉発生などがあらわれることがあります。

●外気の空気質や蒸発残留物の付着状況によっては、加湿エレメントに臭気が付着することがあります。

●交換の目安は、保証期間を示しているものではありませんので、ご注意ください。

移設・工事・点検について

■移設について

- ①増改築・引越しのため外気処理ユニットを取りはずしたり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。
- ②据付けや移設時に冷媒を追加充てんする場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。
この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。
- ③フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- ④この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、必ず専門の回収業者に依頼してください。



外気処理ユニットおよび室外ユニットに表示されている左記のシンボルマークは、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることご認識いただくための表示です。この製品はフロン排出抑制法の第1種特定製品です。排気・整備するときは、都道府県に登録された第1種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。外気処理ユニットにはフロン類の種類・GWP（地球温暖化係数）が表示されています。システム全体のフロン類の数量は室外ユニットに表示されています。

■設置場所について

- ①設置・移設する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。
- ②次の場所への据付けは避けてください。
 - ・可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
 - ・炎の近くや溶接時のスパッターなど、火の粉が飛び散るところ
 - ・酢（酢酸）を多量に使用するところ
 - ・海浜地区等塩分の多いところ
 - ・温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
 - ・酸性の溶液を頻繁に使用するところ

など、外気処理ユニットの周囲雰囲気が特殊な場所で使用しますと、多くの場合外気処理ユニットの故障のもとになります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ③外気処理ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれなどの原因となります。
- ④病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズ発生源を遮断して施工してください。

■保守点検契約のおすすめ

- 外気処理ユニットを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては臭いが発生したり、ゴミ、ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をおすすめします。

■電気工事について

- ①電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。
- ②電源は外気処理ユニット専用の回路を設けているか販売店にご確認ください。他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることができます。
- ③万一の感電防止のため、アースを取付けてください。詳しくはお買い上げの販売店にご確認ください。
- ④据付場所によっては、漏電ブレーカーの取付けが義務付けられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ⑤ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

■騒音にもご配慮を

- ①据付けにあたっては、外気処理ユニットの質量に十分耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- ②室外ユニットの吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- ③室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
- ④外気処理ユニットをご使用中、異常音がする場合などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

仕様

形名	電源(V)	周波数(Hz)	消費電力(W)	定格風量(m³/h)	温度交換効率(%)	エンタルピー交換効率(%)		外気負荷熱処理能力(kw)		加湿量(kg/h)	騒音(dB)	最大負荷電流(A)	質量(kg)
						暖房時	冷房時	暖房時	冷房時				
LB-150DF7-50	3相 200	50	1260	1500	70	69.5	67	14.70 〈8.31〉	13.82 〈8.61〉	8.3 (10.9)	45	6.4	380
LB-150DF7-60	3相 200	60	1500	1500	70	69.5	67	14.70 〈8.31〉	13.82 〈8.61〉	8.3 (10.9)	45.5	6.7	380
LB-200DF7-50	3相 200	50	1700	2000	70	69	67	17.70 〈9.18〉	16.84 〈9.90〉	9.7 (13.1)	46	7.2	390
LB-200DF7-60	3相 200	60	2100	2000	70	69	67	17.70 〈9.18〉	16.84 〈9.90〉	9.7 (13.1)	47	8.8	390

※ 熱交換効率は JIS B 8628 : 2003 の条件に基づいた値です。なお、温度交換効率は暖房時・冷房時の平均値を示しています。

※ 上記の値はロスナイ換気の場合を示します。

※ 騒音値は本体正面中央 1m・床上 1m の値です。

※ 外気負荷熱処理能力および加湿量は JRA4074 : 2017 の条件による値であり、以下の条件での値を示します。

室内空気条件：冷房 乾球温度 27°C 湿球温度 19°C 暖房 乾球温度 20°C 湿球温度 13.8°C

外気空気条件：冷房 乾球温度 35°C 湿球温度 24°C 暖房 乾球温度 7°C 湿球温度 6°C

外気負荷熱処理能力の〈 〉は、コイルの定格暖房能力、定格冷房能力で内数を示します。

加湿量は初期の値を示します。加湿量の()はロスナイエレメントでの湿度回収分を含んだ値です。

※ 上記のエンタルピー交換効率は、給気と排気の風量比や空気条件により変動します。詳細は、「三菱換気送風機総合カタログ」をご参照ください。

※ モーターブレーカーの選定は誤動作防止のために最大負荷電流の 1.2 倍程度を目安にしてください。

● JRA*GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。

定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄するまでの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。

なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。 *JRA: 社団法人 日本冷凍空調工業会

- ・JRA GL-14について、<http://www.jraia.or.jp/info/gl-14/>
 - ・フロン漏えい点検制度について、http://www.jarac.or.jp/business/cfc_leak/

様式 1 冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）

年 月 日 ~ 年 月 日

管理番号

お客様 メモ

サービスを依頼さ
れるとき便利です。

形 名	
お買上げ年月日	年 月 日
お買上げ店名	
(住所) (電話番号)	() _____

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるよう主なプラスチック部品に材質名を表示しています。

(材質名は主材料にISO規定の略号を使用)

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、
再生紙を使用
しています。